

日本赤十字社の活動

日本赤十字社静岡県支部の活動は、地域のみなさまをはじめ多くの方々の「いのちを守る」ためにあります。

災害救護活動



災害時にいち早く救護班等を派遣し、救護活動を実施。そのために訓練・研修を通じた人材育成、機材整備、救援品備蓄等を行い、常に災害に備えています。

赤十字講習



大切ないのちを救いたいという思いに基づき、「救急法」「水上安全法」「幼児安全法」「健康生活支援講習」を行っています。

医療事業・看護師養成



救急医療や地域に根ざした医療を行う県内5つの赤十字病院があり、新型コロナウイルス感染症対応で奮闘する病院を支援しています。また、災害救護活動や広く社会に貢献できる赤十字精神をもった看護師を養成しています。

赤十字奉仕団



各種奉仕団があり、災害時だけでなく、日常生活においても特技や技術を活かし、地域で活動できるようボランティアリーダーの育成等を図っています。

青少年赤十字



園児・児童・生徒に赤十字の精神を伝え、「やさしさと思いやりの心」を育む事業です。主体性を育てるために「気づき・考え・実行する」という態度目標を大切に活動しています。

国際活動



世界的ネットワークを活かして、紛争や自然災害による被災地への緊急支援、中長期的な復興支援を行うための職員派遣や事業を行っています。

血液事業

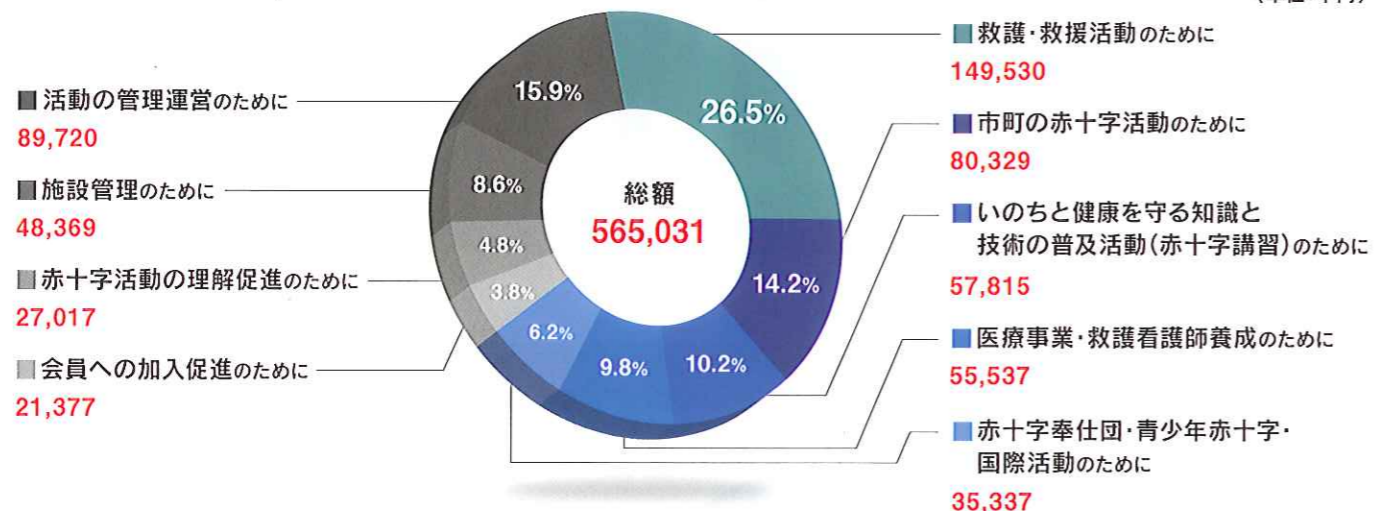


病気の治療等で輸血を必要とする人々を救うため、安全な血液製剤を24時間体制で医療機関へお届けできるよう、支援しています。

活動資金の用途

令和元年度にみなさまからお寄せいただいた活動資金は、下記のとおり大切に活用させていただきました。ご協力ありがとうございました。

(単位:千円)



※災害発生時に受け付ける「義援金」は、全額が配分委員会を通じて被災した方に届けられます。

ご自身や故人の思いを
広く社会に役立てるために

近年、「自分が築いた財産を社会のために役立てたい」「故人の遺産を社会に役立ててほしい」という尊いお申し出が増えていきます。詳細をご希望の方に、ご案内のパンフレットを送付いたしますので、組織振興課までお問い合わせください。TEL 054-252-8131

「いのちを守る」を止めない。

感染防止対策を徹底して、災害救護を、赤十字講習を。



令和2年7月豪雨災害の救護活動

赤十字活動を行う資金にご協力をお願いいたします。



あなたの寄付が、いのちを救う活動になり、つづける力になる。

災害救護

感染症 への対応は、140年以上前から

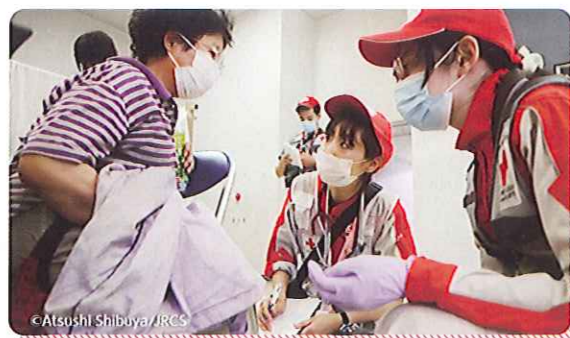
日本赤十字社の前身である博愛社は、明治10年の西南戦争での救護活動を契機に設立されました。西南戦争の最中、熊本県水俣地方でまん延したコレラに対し、熊本県県令(知事)からの要請で医師を派遣し、救護活動を行いました。

コロナ禍の救護活動 令和2年7月豪雨災害

コロナ禍で発生した令和2年7月豪雨災害では、感染予防対策に細心の注意を払って救護活動を実施しました。被災地に対応した救護班要員は、医療用マスクを着用。一人一つずつ消毒薬を携行して、被災者と接する度に手指を消毒することを徹底しながら、使用する資機材や車両も頻りに消毒をしました。被災者からは、感染予防に有効なマスクやビニール手袋、ウェットティッシュ等を含む緊急セットの要望が高まり、1,173セットを配布しました。



緊急セット



©Atsushi Shibuya/JRCS



©Atsushi Shibuya/JRCS

赤十字講習

その時 助けるのは、誰かではなく、私 という気づきを

コロナ禍でも自然災害や事故は、いつでもどこで起こるかわかりません。静岡県支部では、大切ないのちを守るための手当や日常生活での事故防止の知識と技術を普及するため、感染防止対策を徹底した上で、講習の機会を提供しています。令和3年度、静岡県支部では、「救急法」「水上安全法」「幼児安全法」「健康生活支援講習」の4講習を約620回・約23,000人のみなさまに、受講いただけるよう取り組んでいきます。

コロナ禍での赤十字講習の感染防止対策

- 受講者や指導員の体温等の健康状態を確認し、マスクの着用や手指消毒を徹底。
- 定期的な換気、人との間隔を原則2メートル程度確保する等、3つの密を防止。
- 器材の消毒セットを十分準備し、共有する訓練用人形等はその都度の消毒を徹底。



更に多くのみなさまに、知識と技術を学んでいただけるよう、動画を静岡県支部公式YouTubeに公開していきます!



さらなる感染防止対策で、いのちを救う活動を継続

コロナ禍での自然災害で救護活動に求められるのは、さらなる感染防止対策です。令和3年度は、被災者が新型コロナウイルス感染症に罹患した場合でも、寄り添った支援が行えるよう、感染症流行下を想定した災害救護訓練を行います。

災害救護活動をはじめとした、いのちを救う様々な活動を全国規模で行うために、全ての都道府県に赤十字支部があります。そして、その活動を支えているのが、みなさまのご支援です。静岡県支部は、今後も全国各支部や本社と連携を図りながら、いのちを救うための活動をつづけていきます。



令和3年度、静岡県支部では、みなさまのご支援のもと、プライバシーテント等の救護装備の整備を計画しています。また、講習に必要な器材や消毒薬等を整備したり、講習の指導にあたるボランティアの育成等を行います。



プライバシーテント

避難所で発熱者・濃厚接触者等の専用スペースとなり、また、着替えや授乳の際のプライバシー確保に役立つテント

みなさまのご協力が、地域でいのちを救う赤十字活動を支えています。